

2024年(令和6年)3月24日(日)

毎 日 新 聞

能登の子供たち 県内に招く

富士山見えて心元気に

柿田川の湧水を見学する能登半島地震被災地の子どもと家族たち「いずれも清水町で」



能登半島地震で被災した子供たちを富士山周辺に招き、水辺の散策や温泉で元気になってもらうと三島市のNPO法人、グラウンドワーク三島(GW三島)が「心を元気にするショートツアー」を企画し、23日、1回目のツアーに参加した石川県珠洲市と能登町の子どもと家族43人が県内に到着した。一行は25日まで滞在する。
【石川宏】

三島のNPO企画 散策、温泉も



柿田川を背景に記念撮影に収まる子供と家族たち

子供たちは23日午後(水町)を見学した。家族3人で参加した能登4時半過ぎ、富士山を町立宇出津小学校を卒業する柿田川湧水群(清業)したばかりの高尾康

太さん(12)は「青い湧き水がきれいだった。富士山を見るのを楽しみにしている」と元気に話した。

GW三島は東日本大震災の際も、宮城県石巻市など被災地の子どもを招いた実績がある。今回は地震半月後の1月16日からツアーのため、約350万円を集めた。子ども家庭庁の被災した子どもの居場所づくり支援の補助金133万円も獲得した。一行は、伊豆の国市の温泉旅館に宿泊し、24日は鳴沢水穴など山梨側の富士山や三島市の源兵衛川の水辺を歩き、25日は三島の祭りばやし、しゃぎりを体験する予定だ。4月27～29日、7月28～30日にも2回目、3回目のツアーを開く。